

問題

三角形 ABC の内部の 1 点 P を頂点とする 1 つの平行四辺形を PQRS とする . P から Q へ向かう半直線が三角形 ABC の周と交わる点を Q' とし , R' , S' も同様の点とする .

$$\vec{PQ} = a\vec{PQ'}, \vec{PR} = b\vec{PR'}, \vec{PS} = c\vec{PS'}$$

とおくとき , $a + c \geq b$ が成立することを示せ . (\vec{PQ} などはベクトルを表わす)

解答

a, b, c はそれぞれ点 P を始点とする半直線上の点なので , a, b, c は正

また , a, b, c のいずれか一つでも 0 となると , PQRS は四辺形にならないので , $a > 0, b > 0, c > 0$

PQRS は平行四辺形なので

$$\vec{PQ} + \vec{PS} = \vec{PR}$$

したがって、

$$a\vec{PQ'} + c\vec{PS'} = b\vec{PR'}$$

よって、

$$\vec{PR'} = \frac{a\vec{PQ'} + c\vec{PS'}}{b}$$

したがって、半直線 PR と辺 $Q'S'$ の交点は辺 $Q'S'$ 上にある。

点 Q', S' は三角形 ABC の辺上の点なので辺 $Q'S'$ は三角形 ABC の内部または辺上にある。

もし、点 R' と点 P が直線 $Q'S'$ の上になく同じ側にあるとすると、

点 R' は点 P は三角形 ABC の内部の点なので、三角形の辺上の点 Q', S' とつくる三角形 $PQ'S'$ の内部ある。

しかし、点 R' は三角形 ABC の辺上の点なので、これは矛盾する。

したがって、点 R' は直線 $Q'S'$ の上にあるか、P とは反対側に存在する。

よって、辺 $Q'S'$ 上の点 T への P からのベクトルは

$$\vec{PT} = d\vec{PQ'} + (1 - d)\vec{PS'} \quad (0 < d < 1)$$

と表せるので

$$\vec{PR'} = f\vec{PT}$$

としたとき、 $f \geq 1$

となる。

$$\vec{PR'} = f(d\vec{PQ'} + (1 - d)\vec{PS'})$$

$$\vec{PR'} = \frac{a\vec{PQ'} + c\vec{PS'}}{b}$$

より

$$f(d\vec{PQ'} + (1 - d)\vec{PS'}) = \frac{a\vec{PQ'} + c\vec{PS'}}{b}$$

両辺に b をかけて

$$fb(d\overrightarrow{PQ'} + (1-d)\overrightarrow{PS'}) = a\overrightarrow{PQ'} + c\overrightarrow{PS'}$$
$$(fbd - a)\overrightarrow{PQ'} + (fb(1-d) - c)\overrightarrow{PS'} = 0$$

PQ' と PS' は同一直線ではないので、この式が成立するためには、 $fbd - a = 0, fb(1-d) - c = 0$ でなければならない。

よって、

$$a = fbd, c = fb(1-d)$$

したがって、

$$a + c = fbd + fb(1-d) = fb$$

ここで $f \geq 1$ なので、 $fb \geq b$

よって、 $a + c \geq b$